

もり

盛岡市森林づくり イノベーション事業

採択事業紹介



もり 「盛岡市森林づくりイノベーション事業」とは？

盛岡市域の約70%（64,778ha）は、多様な樹種で構成された広大な森林です。

この森林やその産物を活用する事業者の取組に対して補助を行い、その取組を促進することで、森林活用の機運を醸成するとともに、森林資源の新たな好循環を生み出し、森林の多面的機能の発揮に繋げようとするものです。

事業コンセプト



発揮される森林の多面的機能

生物多様性保全
(動植物・生態系保全)



水源涵養
(自然のダム機能、水質浄化など)



物質生産
(木材、食料生産など)



地球環境保全
(二酸化炭素吸収、
地球温暖化の緩和など)



快適環境形成
(大気浄化、気温調整など)



文化
(景観、体験学習など)



土砂災害防止・土壌保全
(土石流、落石、雪崩の防止など)



保健・レクリエーション
(森林浴、行楽、レジャーなど)



事業者一覧

	事業者名	連絡先	HP	分類
R6 採択	ホルツ Holz 平山 貴士	 盛岡市菜園 1-3-10  019-623-8000  holz@m8.dion.ne.jp		 家具
	工房 ^{ゆめまゆ} ^か 夢蘭*花 主宰 江見 夏恵	 盛岡市神明町 1-24 マロンクレール 1 F  019-623-6509 / 090-3648-9672  emi@yumemayuka.com		 木工品
	株式会社浅沼醤油店	 盛岡市黒川 11-59-4  019-696-2033  非公開		 食品
	松森木工所 松森 政仁	 滝沢市柵宜屋敷 25-3  019-684-3609  info@ima.design		 家具
	株式会社やまもり	 盛岡市紺屋町 5-11 1 F  050-8884-6686  info@ymori.co		 その他木製品
	株式会社斎藤商事 (まちなか木工室 KITENE)	 盛岡市肴町 7-24 ホームセンター2F  019-623-6311  ken@hi-yo.jp		 その他木製品
	おもちゃと遊び企画舎 とうめいしっぽ 新田 紗希	 非公開  090-4478-3601  toumei.shippo@gmail.com		 木工品
R7 採択	株式会社自由屋	 盛岡市川又赤坂 51-16  080-7842-1555  180method@gmail.com		 レク
	きさ 榎工房 橋本 勲	 盛岡市上太田上の畑 107  080-1832-5419  kisakohboh8300@gmail.com	無	 木工品
	株式会社西村林業	 秋田県鹿角市十和田大湯字下ノ湯 7-1  0186-37-3091  nishimura-k@nishimura-r.com		 その他木製品
	森の百花店 ^{ひやっかてん} 小嶋 愛	 非公開  非公開  morinohyakkaten88@gmail.com	準備中	 食品
	チーム・フォレストイメイト・アンド・フォレストート team FoREstimate & FoREstate	 盛岡市紺屋町 5-11 1 F  050-8884-6686  info@ymori.co	無	 サービス

R 6 採択事業の紹介

- 掲載は応募受付順。
- 掲載している画像の中には、今後商品開発等を行うものが一部含まれます。



デザイナー小泉誠と 家具屋 Holz の椅子プロジェクト

ホルツ
Holz 平山 貴士

最近の住宅でのダイニング家具の使用状況を考え、Holz では以前より親交のある家具デザイナー小泉誠氏に協力してもらい、椅子 (sansa) とベンチ (SandwichBench) を盛岡市産材を用いて製作します。デザイン性やクオリティの高い家具を製作、販売し続けていく事で、物を通して盛岡市産材の良さを岩手から全国にアピールし、森林資源活用の機運醸成につなげていきます。



▲ シンプルなデザインと使いやすさを兼ね備えたベンチ



南部赤松を活用した「もりおか森の恵みクラフト」の開発事業

ゆめまゆ・か
工房 夢繭*花 主宰 江見 夏恵

伝統包装資材の経木 (きょうぎ) をクラフト素材として活用して、その可能性を追求しながら商品開発に取り組みます。R 6 事業では盛岡初となる南部赤松の経木を生産しました。R 7 事業では盛岡の木カツラの経木の生産にも取り組みます。手軽に楽しめる木工キットを開発し講習会を通してSDGs 森林環境教育と共に森の恵みクラフトの楽しさを伝える活動をいたします。



▲ 経木 (きょうぎ) を使った灯り



木材を活用した新しい調味料の 製造・販売事業

株式会社浅沼醤油店

昔から日本酒や醤油の醸造には杉の木桶が使用されてきました。また、ワインやウイスキーの醸造にはオークの木樽が使用され、保存容器としてのみならず、製品の風味付けにも大きく関わってきました。今回の事業ではそのような木材が食品の風味に与える影響を活用し、盛岡市産材を使用して、メープルシロップのような甘い香りやスパイシーな香辛料の香りを付与した調味料の製造と販売を目指します。



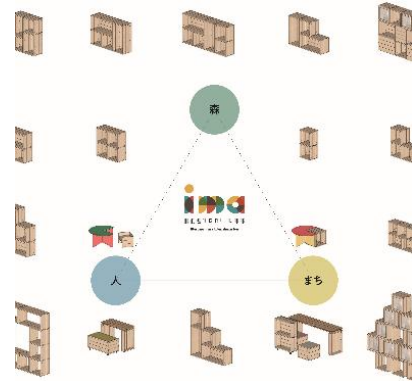
▲ 木の香りを活かしたシロップ



循環型デザインで森と人とまちの合間をつなぐ ： ima Design Lab のインフィル家具プロジェクト

松森木工所 松森 政仁

盛岡市の森林資源を活用し、「動かせる建築=インフィル家具」を開発、販売します。規格化されたパーツの組み合わせにより様々な機能を持つことで「空間の自由度=暮らしの自由度」を高めてくれる家具です。伝統とデジタル技術を活かし、デザインの共創体験プロセスで製品の世界、バリエーションの広がりを生み出し、顧客体験価値を高めます。植林体験や盛岡手づくり村内に新たに体験型工房を構えることで、想いと対価のめぐる交流を深めていきます。



▲ 森と人とまちの合間をつなぐ



～つかって美味しい 見て楽しい～ 経木文化復活プロジェクト

株式会社やまもり

かつて鮮魚や精肉、おにぎりやお弁当を包むなど、人々の暮らしに欠かせない存在であった経木。吸湿性や保湿性が料理の美味しさを引き立て、木肌の美しさと香りが食卓に彩りや高級感を与えます。ローテク&ナチュラルな素材のため、環境負荷や健康への配慮、また時間に追われる現代の使い捨てニーズにもぴったり。名刺や文具、包装材など、経木を使った新たな製品の開発にも取り組み、経木の魅力と可能性を発信し、再び日常に取り入れる楽しさを伝えます。



▲ 見た目にも美味しい経木



盛岡市産材利用の移動式販売什器「木輪^{きりん}」のレンタル、販売事業

株式会社斎藤商事（まちなか木工室 KITENE）

盛岡市産材を活用した移動式販売什器「木輪（きりん）」を製作し、レンタル、販売します。飲食店などが出店するイベントにおいて統一された販売什器を使うことで、全体のデザイン性が一気に上がります。また、出店者は什器の持ち込みが不要となることで出店しやすくなり、さらには持ち込まれたテントタープが出店枠をはみ出して点字ブロックに掛かるトラブルも防げるため、イベント主催者、出店者、街ゆく人のみんなに優しいイベントとなります。この優しさ、温もりを伝える上で盛岡市産材を大いに利用し、良さを伝え活用へ向ける取り組みを行います。



▲ イベントで活躍する木輪



子どもと盛岡の森の未来を育む、 木のおもちゃの商品化



おもちゃと遊び企画舎とうめいしっぽ 新田 紗希

盛岡市内の森で育った木を利用し、赤ちゃんから大人までが、様々な形で長く楽しめる木製のおもちゃを製品化します。幼少期から実際の木と触れ合う経験を通じて、子どもたちの豊かな感性や想像力、森林への関心を促進するお手伝いできればと考えています。上質な家具のように、高いデザイン性と耐久性を備えることで、家族のライフステージに寄り添いながら、世代を超えて受け継ぐ価値のあるものにしていきます。



▲ おもちゃを通じた木との触れ合い

R 7 採択事業の紹介

- 掲載は応募受付順。
- 掲載している画像の中には、今後商品開発等を行うものが一部含まれます。



Jiyuya Craft Forest (自由屋クラフトフォレスト)

株式会社自由屋

「Jiyuya Craft Forest」は、盛岡市松園・滝沢エリアから車で10分の「第2の庭」です。森林を人の手で整備し、生まれたスペースで多様な活動を提供します。間伐材の木工、山菜・キノコの栽培、薪ストーブを囲む交流、ウォーキングなど、森の恵みを「手作り」で体験できます。通年利用可能なスノーパークや、地域の人に参加できるクラフトマルシェも併設。会員制と時間料金制を組み合わせ、森林の楽しさを通じて地域に溶け込む新しいコミュニティ空間です。



▲きのこの栽培から収穫まで体験できる



岩手・盛岡の森の、木で作る、木を生かす — 使う『樹木図鑑』構想

きさ 標工房 橋本 勲

岩手・盛岡は質量共に森林資源豊富な地域だが、生活様式の変化等で立派な原木が使い道もなくチップやマキにされてしまうという話を聞いたことがある。事実、名前も用途も不明の木を引き取ったことがある。『いわてのてばこ』そして『木のいろ はがき額』は試作以来、今迄使いかねていた木も意識的に使う様にしてきた。見る、触る、知る（名と用途を）、使う—岩手・盛岡の多彩な森の木の価値を改めて見直す、手仕事による小さな木工品をこれに続けて作り続けていきたい。



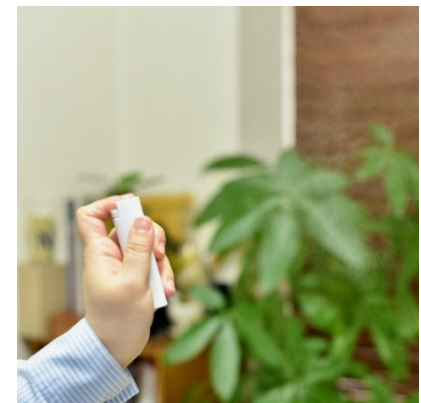
▲木目の自然な美しさが映える『いわてのてばこ』



林業事業体による「お守森スプレー」の 商品化、製造・販売事業

株式会社西村林業

盛岡市内の森の樹木から抽出した香り(精油)を活用し、“お守森スプレー”の開発・販売をします。地域の伝承になぞらえたものや、地域に関わり深いものを題材にしたお守りの要素と、シュッ！とひと吹きすれば森由来の癒しの香りが広がるフレグランススプレーをかけ合わせた、使う人の心の安寧を願う縁起物雑貨です。日々持ち歩き、自宅やオフィス、旅先などで楽しく使ってもらうことで、盛岡市や森林への興味関心の入り口となるような商品に育てます。



▲森の香りで心身ともにリラックス



～森の多様性を味わうはちみつ～ 「森林（もり）の秘蜜」プロジェクト

ひゃっかてん
森の百花店 小嶋 愛

サクラ、トチ、クリ、シナ、ウルシ…。季節ごとに多様な樹々が花を咲かせる広葉樹林内にて「森の多様性を味わう」はちみつを生産します。蜜内の花粉からハチが訪れた植物を特定・表示。森の樹の多様性が見える商品とします。季節とともに花の構成も移ろい、はちみつの色や香り、味も変化。季節ごとの樹のハーモニーを楽しむことができます。先進知見や技術も活用し、化学薬品の抑制や残留農薬の検査、作業の負荷や安全性、ハチへのストレスや生態系への配慮にも取り組みます。



▲ 盛岡の樹々が育んだ天然のはちみつ



山林の活用・流通活性化プロジェクト

チーム・フォレストイメイト・アンド・フォレスト
team FoREstimate & FoREstate

建築材や燃料材などの木材生産、山菜やきのこ、CO2 吸収や生物多様性の維持など…山や森は本来、私たちに沢山の価値をもたらす「資産」です。しかし私有林の多くが、適切な管理や活用がなされず放置されています。本プロジェクトでは、所有者の意向を受け、山林の現状把握と資産価値の評価・査定を行います。そのうえで、適切な活用方法の提案や山を必要とする企業などとのマッチングを行います。これらのサービスをワンストップで提供し、山林の活用・流通の活性化を図ります。



▲ 眠っていた山林の価値を引き出す

盛岡で生産される木材たち

盛岡市内には、広葉樹・針葉樹をはじめとする多種多様な木々が育ち、それぞれが異なる表情と特性を持っています。盛岡市産材を使いたい方・手に入れたい方は、下記までご相談ください。



針 針葉樹 広 広葉樹

問合せ先：岩手県森林組合連合会（盛岡木材流通センター）事業部
木とくらしの相談所グループ
☎ 019-697-7415 ✉ iwamori9@echna.ne.jp

令和7年度盛岡市森林^{もり}づかいイノベーション事業の概要

募集内容

【募集事業】

- ・市内の森林を活用するもの
森林空間を活用（イベント等）または産物（木材・きのこ・うるし等）を活用する事業。
- ・補助終了後も継続するもの
売上等により事業資金を確保することで、補助終了後の継続が見込まれる事業。
- ・新規または既存の取組
商品開発などの新たな取組だけでなく、既存の商品やサービスを扱う事業も対象。

【応募資格】

日本国内の個人事業主、法人、任意団体（グループ可）

【補助年数】

連続した3年度（3回）

※採択は単年度毎。初年度の採択時に2年度目以降の採択を確約するものではなく、毎年度応募し、採択される必要があるもの。

【補助上限額】

3年度 500万円かつ単年度 300万円

【補助率】

10/10（対象経費の相当額）

審査方法

一次審査（書類審査）及び最終審査（プレゼンテーション審査）により選考。

スケジュール

募集開始	応募期限	一次審査 結果通知	最終審査会 (プレゼン)	最終審査 結果通知
4月15日	5月14日	5月21日	5月28日	6月2日

募集結果

応募件数	採択件数
8件	5件

盛岡市農林部林政課

〒020-8531 盛岡市若園町2番18号
電話：019-626-7541
Eメール：rinsei@city.morioka.iwate.jp

事業のホームページはこちら

盛岡市森林づかいイノベーション事業

